



主要な農作物の生育情報

平成28年度 第6号

(平成28年9月9日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

農業総合センターの作柄解析試験では、各品種とも概ね平年並の出穂期となりました。出穂後の登熟が順調であることから、成熟期も平年並になる見込みです。

病虫害防除所の8月下旬の調査では、穂いもちの発生量が平年より少なく、紋枯病と斑点米カメムシ類の発生量が平年より多くなっています。

表1 水稲主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本 部 (郡山)	コシヒカリ	5.02	8.09	8.08	+1	9.24
	天のつぶ	5.02	8.02	8.02	±0	9.12
	ひとめぼれ	5.02	8.01	8.01	±0	9.09
	コシヒカリ	5.16	8.15	8.12	+3	9.29
	天のつぶ	5.16	8.07	8.06	+1	9.19
	ひとめぼれ	5.16	8.05	8.04	+1	9.17
会津地域研究所 (会津坂下)	コシヒカリ	5.20	8.06	8.07	-1	9.20
	ひとめぼれ	5.20	8.01	8.02	-1	9.12
浜地域研究所 (相馬)	コシヒカリ	5.10	8.09	8.09	±0	9.26
	ひとめぼれ	5.10	8.01	8.01	±0	9.12

※ 農業総合センター作柄解析試験。平年は前5カ年の平均値。

2 大豆

農業総合センターの作柄解析試験では、開花期が平年並でした。また、草丈は平年並から短く、主茎節数は平年並からやや少ない状況です。

病虫害防除所の調査では、病虫害の発生量は平年より少なくなっています。

● 農業総合センター作況試験の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野菜】

1 きゅうり

抑制栽培の定植は、平年並の7月下旬から8月上旬にかけて行われました。一部ほ場で高温の影響により葉焼けが発生しましたが、全体的には概ね良好に生育しており、現在収穫作業が行われています。

露地栽培は、中通り地方で台風10号の強風による被害が発生しましたが、ほ場ごとの摘果や追肥作業等により、現在は新芽の伸長や雌花の開花など草勢の回復が見られます。

病虫害は、ほ場によりハダニ類の発生程度が高くなっています

2 夏秋トマト

8月の高温等の影響により萎れや花落ちが発生しましたが、概ね平年並に生育しています。現在は、花落ちのあった段数が収穫期となっているため、収穫量はやや少なくなっているほ場が見られますが、遮熱、遮光資材の利用等により、草勢は維持されています。

病虫害は、ほ場によりアザミウマ類、コナジラミ類の発生程度が高くなっています。

3 さやいんげん

7月播種の作型の生育は、8月の高温の影響により草勢が落ちたほ場が見られましたが、現在は収穫作業が行われています。

4 夏秋ピーマン

8月の高温の影響により生育の停滞が見られましたが、現在の生育は平年並で、収穫作業が続け

られています。

病害虫では、ほ場によりアブラムシ類の発生程度が高くなっています。

【果 樹】（9月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「川中島白桃」の収穫盛は8月17日で、平年より10日早まりました。

「ゆうぞら」の収穫始は8月16日、収穫盛は8月20日で平年より15日早まりました。果実の大きさは355gと平年より大きく、RM示度は14.0と平年より高い状況でした。

2 なし

暦日比較では、「豊水」は縦径108%、横径110%と平年より大きく、満開後日数による比較においても平年より大きい状況です。

3 りんご

暦日比較では、「ふじ」は縦径106%、横径108%と平年より大きく、満開後日数による比較においても平年より大きい状況です。

「つがる」の収穫盛は8月25日で平年より9日早まりました。果実品質は、果実重が279g（平年比98.2%）、RM示度は13.0、果肉硬度は11.1ポンドで、平年と比較して果実重と糖度は同程度、果肉硬度はやや低い状況でした。

【花 き】

1 コギク

県北地方の9月彼岸出しは2～3日生育が早まっており、出荷のピークは9月3半旬となる見込みです。草丈は平年並で、80cm級中心の出荷となる見込みです。

一部のは場で白さび病が多発しています。

2 シュッコンカスミノウ

会津地方の新植の出荷が、中盤を迎えています。高温により開花が10日程度前進していることから、70cm級中心の出荷となっています。

3 トルコギキョウ

9～10月咲きは、平年より5日程度生育が早まっています。高温で開花が早まっていることから、70～60cm級中心の出荷となっています。

4 リンドウ

南会津地方の中晩生種の開花は10日程度早まっており、需用のピークとなる9月3～4半旬には出荷量が減少する見込みです。

葉枯病の発生が見られますが、防除の徹底により下位葉に留まっています。

【飼料作物】

1 牧草

2番草の収穫が終わり、現在3番草の生育期を迎えています。2番草は、収量・品質ともに平年並となっています。

2 飼料用とうもろこし

これから本格的な収穫期を迎え、収量・品質ともに平年並となる見込みです。

3 稲WC S

8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>